

# 甘木朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

甘木朝倉介護保険事業者協議会 会報  
創刊号 平成13年1月1日発行 第1巻第1号 (通巻第1号)

## 創刊号

### ごあいさつ

皆さん、明けましておめでとうございます。

21世紀の到来は、日本に新しい健康、新しい生き方を求めてきます。

ふり返ると20世紀は医学の進歩がめざましく、おかげで日本は世界一の長寿国となりました。

21世紀は「自立した高齢者が多様な生き方を選択できる社会づくり」が求められ、介護の問題もクローズアップされてきます。

「誰もが安心して地域・自宅で生活出来る」……これが地域の皆様の希望と思います。その為には多くの問題に取り組まないといけません。

1. 高齢者の生涯を通じた健康づくり(社会参加と生き甲斐)の援助
2. 高齢者を支援する、生涯を通じた生活づくりの援助
3. 介護者を支援する仕組み
4. その為の地域の問題、家族の問題、環境の問題、住宅の問題等の解決

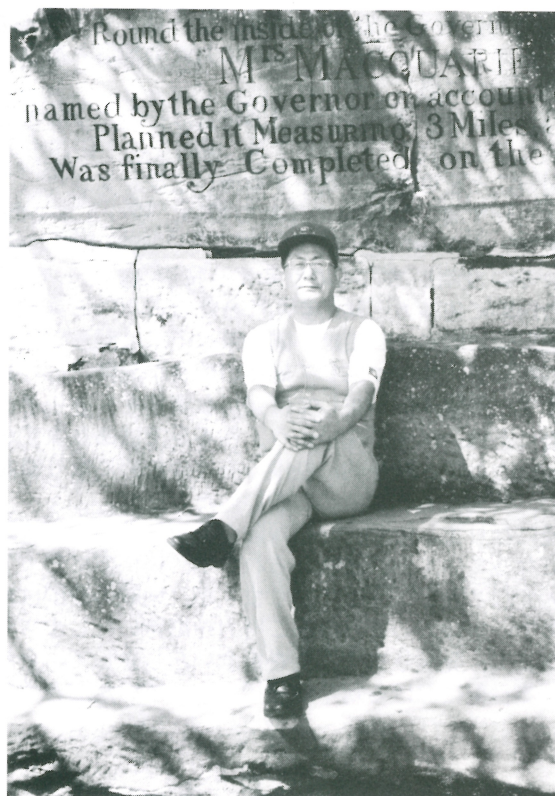
そして制度そのものから、地域行政も含め「現場の生の声」を協議会から届けられたら幸いです。

甘木朝倉介護保険事業者協議会は2000年8月21日に設立された若い団体です。

新年を迎え、私共は身体的にも財政的にも健康に留意しながらお互い協力することを誓います。

### 21世紀高齢社会を迎えて

甘木朝倉介護保険事業者協議会  
会長 蓮池 年民



## 21世紀は、「環境、 福祉、人権」の世紀

福岡県介護保険広域連合  
朝倉支部 支部長  
手柴 豊次



2001年あけましておめでとうございます。

新しい世紀、21世紀がスタートしました。この21世紀は地球規模でアクションを起こさなければならない「環境の世紀」。世界に類例をみないスピードで進む我が国の少子高齢化に対応するための「福祉の世紀」。そして民族紛争や宗教による争いを終焉させ、世界の恒久平和とすべての人の人権が尊重される「人権の世紀」だと思っております。

さて、昨年4月から介護を社会全体で重層的に支えあう「介護保険」が始まりました。今日まで大きなトラブルもなく、全般的に順調なスタートであったと感じております。

この介護保険制度で最も重要なことは、保険者である市町村（広域連合）の公正な認定と、要介護者のニーズに対応するための介護サービス基盤の整備、そして直接介護サービスを提供されるサービス事業者の資質の向上であると考えております。また、各市町村においては、要介護状態にしない・させない「介護予防」の取り組みも同様に重要な課題であると認識いたしております。

甘木朝倉の福祉・医療関係の事業者の皆様方は、昨年8月、「介護サービス事業者の資質の向上、事業者間のネットワーク化、保健・福祉・医療の連携で円滑な介護サービスの提供」を基本理念とされた「甘木朝倉介護保険事業者協議会」を設立され、活発な活動がなされていると聞き及んでいます。ここにそのご活躍に、改めて敬意を表するものであります。この甘木朝倉地域における温かみ、めくもりのある介護サービスの提供は、協議会の皆様の、なお一層のご活躍にご期待するところが大きいです。蓮池会長様のもと、今後貴協議会の益々のご発展をご祈念申し上げますとともに、私ども保険者も貴協議会への支援を惜しまぬことを併せて申し上げ、会報発刊並びに新年のごあいさつといたします。

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には新しい世紀、2001年の初春を健やかに迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は皆様方にとりましても情報等錯綜する中、介護保険が鳴り物入りでスタートした大変な年であったと思います。

開始当初は解釈の相違などによりトラブルも少なからずあったようですが、皆様方のご努力により住民の方々の理解も進み、少し落ち着く先が見えてきたように感じております。

この甘木朝倉介護保険事業者協議会はそのような大変な状況の中、関係者の多大なご努力により、昨年8月、情報交換や研修をとおして会員の質の向上を図ることを目的とし発足する運びとなりました。

4ヶ月がすぎ、協議会の体制も整い、やっと本格的な活動が始まりつつありますが、保健所といたしましても、当初より地域の情報収集、調整機関としての役割があるものと考え、特別会員として参画し、円滑な協議会推進のために皆様方と共に歩んできたところであります。

介護保険につきましては、国や県は走りながら制度を考え、整えるようなところがあり、状況に応じて制度の改良が頻繁に行われているように見受けられます。保健所としましては適正な業務を生き生きと遂行され、また住民の方々に不都合が生じないよう、役不足ではありますが、国や県と皆さんの橋渡し役として、積極的に制度の充実のために取り組んで行く所存でありますので、今後ともご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、介護保険の充実に伴いこの協議会の役割はますます重要になっていくものと考えられます。皆様方にとっては活動が業務の外であり大変なことは存じておりますが、地域の健康は地域の発展の源でありますので、皆様方のさらなるご努力を期待いたしますとともに、この協議会が更に充実、発展しますことを祈念いたしまして、会報の創刊記念及び新しく拓ける世紀における新年の挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

朝倉保健所保健所長  
宮崎 親

## 事業報告

### 第1回シンポジウムが開催されました



平成12年11月24日(金)、松屋ガーデンパレスに於いて、「充実したケアプランに向けて」をテーマとし、第1回シンポジウムが盛大に開催されました。(出席者数112名) 蓮池会長のあいさつに続き、火野坂副会長の進行でシンポジウムはスタートしました。

青柳二郎先生(青柳医院院長)による基調講演では、「ケアマネジャーの果たす役割、責務を頭の中に入れて欲しい」、「利用者の身体機能のみにとらわれず、心身の状況を観察、把握して欲しい」、「主治医との連携も、連絡調整のためのケア会議実施も必要」と事例を通して話され、「人と人は会えば必ず心が開ける、遠慮せずに話ができるようになることが念願」「かかりつけ医とケアマネジャーが今後よりよい関係を築き上げていきたい」と、話を結ばれました。

つづいて、ケアマネジャーの鶴我ケイ子さん(福祉系)、高倉洋子さん(医療系)、鎌田洋美さん(社協系)にご登壇いただき、現在の業務の中で感じていることや問題点について、症例を通し自由に話をして頂きました。

「本来の業務であるケアマネジメントに十分な時間を費やしていきたい」、「ケアプランを立てていく上では、ケア会議等を開いてそれぞれの専門家の意見を良く聞くことが大事なのだが…」、等の意見が出されていました。その後、火野坂副会長のコーディネートで、青柳先生、居宅療養管理指導部会長の福嶋正孝先生(福嶋医院院長)、また3人のケアマネジャーの方々によるディスカ

ッションが進められ、「医師との連携をいかにしてうまく行っていくか」という事を中心に限られた時間内ではありましたが、有意義な意見交換が行われました。懇親会では、ケアマネジャーの皆さんが主治医の先生方と楽しそうに談笑する姿が、あちこちで見受けられ、また、当日のアンケートにおいても「先生方との距離を近くに感じた」との声も聞かれ、今回のシンポジウムもその役割を果たし無事終了することができました。

(記 広報部 鬼塚純子)





## 訪問看護部会

訪問看護部会 部会長 鬼塚純子

今後部会の運営をどのように進めていくかについての話し合いを行いました。

〔目的〕

- ① 質の高いサービスの提供をめざし、相互に研鑽する機会を設ける。
- ② 訪問看護の役割や効果的な利用方法に関する周知・普及活動の実施。

〔具体的な活動の取り組み〕

- ① フローチャートを利用した訪問看護利用案内の配布（主としてケアマネージャー対象）
- ② 他のサービスとの連携をはかり、訪問看護をより効果的なものにする。

※今月、訪問入浴介護部会と合同研修会を実施する予定です

3箇所それぞれの小さなステーションですが、今後も力を合わせながら地域の高齢者や、難病に苦しまれておられる方々の支えとなれるよう努力して参ります。

H12.10.2開催  
部会所属の3事業所全て参加

## 通所介護部会

通所介護部会 部会長 黒田博喜

従来の補助金制度から契約制度へと変わったこと、介護保険においては様々な制約があることから、種々の問題点や意見が出され活発に論議されました。これらについては協議会に対し行政をはじめとする関係機関への働きかけをお

願いしているところです。

- ① 利用時間の細分化と職員配置の問題から、施設外活動が出来なくなった。
- ② 介護度が更新認定で下がった場合、限度額による利用制限が生じる。また、家庭の事情等により高額な自己負担発生にも関わらず、利用継続されるケースが起こっている。
- ③ 当日の取消にも関わらず、キャンセル料を実際には徴収できない。
- ④ 関連法人以外のケアマネージャーからは、利用者の情報が入手しづらい。

今後部会としては、情報交換や他の部会との交流を深めながら、また利用者の方々の声にも十分に耳を傾けながら、お一人お一人のニーズや置かれている環境に応じた、迅速かつ適切なサービス提供に取り組んで参りたいと考えております。

H12.10.13開催  
部会所属の9事業所全て参加

## 居宅介護支援部会

居宅介護支援部会 部会長 鶴我ケイ子

現在直面している問題点としてあがったものを紹介します。

- ① 介護保険制度の説明を行う際、利用者や家族から理解を得ることが難しい。
- ② 事務処理に時間を要し、本来の業務である適切なニーズの把握ができない。
- ③ 利用者本位の自立への援助よりも、家族の意向、限度額、自己負担等の問題に重点をおいたケアプランになっていないか。
- ④ サービス担当者会議やケアカンファレンスが満足に実施できない。
- ⑤ 住宅改修、福祉用具貸与・購入等に係るケア

# Views

マネの業務に対する位置づけが低い。

- ⑥ 作成したケアプランが、本当に利用者のニーズに合った適切なサービスの選択であるか、客観的な評価方法がわからない。等々。

その他、「苦情受付窓口を利用者に対し明確に示す」取り組みを行うことにしました。

今後、利用者の側に立った質の高いケアマネジメントができるように、相互に連携を取れる「場」としての部会でありたいと思っています。

H12.10.18開催  
部会所属25事業所中22事業所、34名が参加

## 通所リハビリ部会

通所リハビリ部会 部会長 江藤清子

日頃直面している問題点等が出され、活発な意見交換が行われました。

- ① 利用時間の細分化により、送迎に手を取られ野外活動等が実施しにくくなった。
- ② レク等に全く参加されない方へ、どのように対処してよいかわからない。
- ③ 同日の病院受診(併設)の希望が多いが、その場合の問題点について説明するものの理解が得られない。
- ④ ケアプラン作成の時間がなかなか取れない。
- ⑤ 現行のスタッフ基準では不足。10:1の人員配置基準を改正して欲しい。
- ⑥ 痴呆による徘徊者への対応に苦慮している。

その他要望として、「キャンセル料徴収に対し、協議会として統一した対応がとれないか。」また、「送迎時等に会った場合には、親交を深める意味でも手を挙げる等の挨拶を行っていききたい。」

通所介護事業者にも呼びかけを行っていききたい。」との提案が出されました。今後は、質の向上を目

指し、各施設が平等なサービスを行っていきけるようこの部会を連携の場にしていきたいと考えております。

H12.11.9開催  
部会所属9事業所中8事業所参加

## 訪問入浴介護部会

訪問入浴介護部会 部会長 橋本恵美

今回は11月までの状況報告と、困ったことや悩んだこと、また利用者の方々から出されたクレームなどをお互いに出し合いました。

- ① 4月からの開始で、経験が少なくサービス提供に時間を要してしまう。
- ② リスク管理が難しい。
- ③ 入浴中止の可否判断にとまどう。中止基準が曖昧である。
- ④ 水虫や疥癬など、感染症対策が必要。
- ⑤ 中腰になる姿勢が多く、腰痛が出現している、等々。

今回の部会開催は、自分たちが行っているサービスを今一度振り返ってみる良い機会となったのではないかと思います。

今後は2ヶ月に1回の開催を予定しております。(今月は「訪問入浴と訪問看護」をテーマに実施する予定です。)

これからも、主治医やケアマネージャーの方をはじめ、違う職種の方々との情報交換や連携、交流を図り、質の高いサービス提供を目指す意義ある部会にしたいと思っています。

H12.11.13開催  
部会所属の4事業所全て参加

# Voice

**サービス事業者**の方々が毎日訪問して下さることが、今の私の精神的な支えになっています。

サービスの内容については、ある事業所のヘルパーさんに来ていただいているだけで、他のサービスを利用していないため、比較はできません。

介護保険が始まりありがたく思っていますし、本当に皆様には感謝しています。出来るだけこのまま自宅での生活を続けたいと思っています。

(男性 67歳 / 独居)

**介護保険**が始まって、利用できる援助内容について制限が多く困っています。

家事型、複合型などに分かれていて、煮魚を作ってもらおうよう頼むと、「あなたの分は作ってあげますが、ご主人の分は出来ません。」、部屋の掃除を頼んでも、「お座敷などはいつも使われていないので掃除出来ません。」と言われる始末です。

お金と時間がかかることなので、いろいろとは言えませんが、私たちも利用しづらくなりましたし、ヘルパーさんもやりにくくなったのではないかと思います。

訪問看護というのも、はじめは何をしていただけるのか解らなかつたのですが、私のパーキンソン病の状態をみながら入浴介助をしていただき、おかげで転ぶことを心配せずに安心して入浴できるようになりました。

また、看護婦さんが来られリハビリも行っていただけますし、体の曲がり度で足の左右の長さが違ってきていますが、専門的な助言もいただけますので大変頼りにしています。

(女性 58歳 / 二人暮らし)

**介護保険制度**が始まり8ヶ月が過ぎようとしています、私の所属する施設を利用されている利用者の方とご家族の方の声を少し聞いてみました。

「以前と比べてサービスが細くなった」

「職員の方々に本当に良くしてもらっている」

「以前と何ら変わっていないようだ」

「わからない」等々。

制度導入後は、入所を利用されるご家族の方々から「何々して欲しい」とはっきりと言われる傾向が強くなったような気がします。

以前からも施設においては、サービスや職員の質の向上を図るため努力してきましたが、利用者またご家族の方々のニーズが多様化する中、それに応えていきながら利用者の皆様がここで安心して生活できるよう、より一層の努力をしていきたいと思えます。

(施設スタッフ)

# ●FORUM

(会員の皆様方の投稿コーナーです)

昨年4月から介護保険が導入され、様々な問題に直面しながらもケアマネージャーとしての活動を行っているところですが、私たちの地域では月1回、行政を中心として、医師とケアマネージャーが参加し、いろいろなケースを出し合って意見交換を行い、ニーズ解決に向けて、勉強会を開いています。勉強会の中では、特に医療面からの助言について考慮に値するものが多く、ケアプラン作成の上で大変参考になっております。

日頃ケアマネージャーとして直面している事は、

- ① 利用者ご本人とその家族の間で、各サービスの利用回数や自己負担の問題等について、意見が合わず調整が難しいこと。
- ② ご本人の意欲が乏しい場合には、各サービスの利用になかなか結びつかず、身体機能の低下予防が図れないこと。等があげられます。

制度上の問題によって困惑しているところも多く、また毎日の仕事にも追われ大変ではありますが、以前の支援センターとしての活動実績から、私たちを信頼し、喜んでいただいていることが、このケアマネージャーとしての仕事を行っていく上での支えとなっています。

これからの私たちに課せられた責務は、

- ① 利用者ご本人のQOL高めていくこと。
- ② ご家族の介護負担の軽減に充分に配慮したサービス調整を行うこと。

であり、それに向け日々努力していくことではないかと考えています。

朝老園居宅介護支援事業所  
湯田博子

## 【投稿をお待ちしております】

このコーナーは、会員の皆様方が今思っていること、感じていること、また言いたいこと等をなんでも自由に発言できる場にしていきたいと考えております。匿名でも結構ですので、是非ご意見をお寄せ下さい。お待ちしております。

様式自由、600～800字程度でお願いします。  
次号掲載のための締切……………2月15日(月)  
原稿の提出先……………当協議会 広報部宛  
(住所は最終面に記載)

介護保険制度が4月に始まり、悩んだり迷ったりしている間に9ヶ月が過ぎました。

ケアマネージャーとして何も方向が定まらないまま、ただ制度に忠実にという気持ちだけで走ってきたような気がします。

少々気持ちにゆとりが出てきた今振り返って見ると、まだ希望に合わせてケアプランを立てていることの方が多く、これでは利用者の自立を目的とした本当に必要なプランを立てるまでにいたっていないかな、と反省しています。ケアマネージャーとしての技量や経験不足、これらをカバーしてくれる各方面からの情報が今一番欲しいものの一つです。

こういうサービスがあればと思っても、フォーマルな社会資源での対応には限界があり、利用者の経済的な問題から躊躇してしまうこともあります。ボランティア活動がもっと盛んになり、保険外の社会資源で細かい対応が出来るようになればいいのにと思っています。当初は、利用者の方も介護保険と民間の保険を混同され、介護保険や自己負担の事を口にする、どちらかという拒絶される傾向が多く見受けられましたが、近頃では、訪ねていくことを楽しみに待っていて下さるようになって、大変嬉しく思っています。

こういう方たちのためにも、現場で働いておられる皆様方から多くの情報やアドバイスをいただきながら、一人一人が少しでも自立に近づくようなプランを立てていきたいと思っています。

たくさんの笑顔に、もっともっと出会えるように…。

かとうホームケアサービス  
加藤文子

# S T A F F P R O F I L E Part.1

■こんなことを聞いてみました。

- 1 趣味
- 2 今、一番したいこと。
- 3 今、一番大切にしていること(もの)。
- 4 協議会発足にあたって一言。

《役員》

会長

蓮池年民(はすいけ としたみ)  
介護老人福祉施設日迎の園(施設長)

- 1 旅行、釣り
- 2 世界旅行(金はないが・・・)
- 3 家族(過去のつぐないか・・・?)
- 4 会員の皆さんが、いつでも自由に出入りし情報交換が出来る場があれば・・・。欲の深い考えでしょうか?でも素晴らしい役員に恵まれた会です。

副会長

火野坂徹(ひのさか とおる)  
火野坂医院(院長/医師)

- 1 ドライブ、グルメ、ときに下手なゴルフ
- 2 美味しいものを求めて旅をする。
- 3 愛
- 4 形だけではなく、みんなに役立つ、中身のある会にしたいと思っていますので、ご協力お願いします。

副会長

手嶋三樹(てしま みつき)  
甘木市社会福祉協議会(会長)

- 1 史跡探訪
- 2 自分の意識の改革
- 3 座右の銘「其心(かくしん)」其の時、其の時を大切に、後で振り返り悔いを残さないように。
- 4 1. 介護保険導入による組織の再検討  
2. 介護保険導入により意識の改革

事務局長(運営部長兼務)

今村武人(いまむら たけひと)

介護老人福祉施設朝老園(法人理事兼施設長)

- 1 ゴルフ(3年前に勧められて始めたものの、各ホールダブルパーのスコアでラウンドする度ストレス憎悪の状態です。)  
散歩(愛犬に引かれての散歩は、ミッキーちゃんのお父さんといささか主客転倒的評判。おかげで人と犬との交流半径1キロ以上、更に拡大の傾向。)
- 2 200年前に伊能忠敬が作成した、日本地図をお供にマイカーで、せめて贅沢に時間を使い日本一周の旅をしたい。
- 3 心身とも安定した健康維持、そして職場の皆さんと家族。
- 4 協議会設立趣意書を肝に銘じ、官民一体となり地域の高齢者の方が安心して生活していただけるよう、会員の人間関係を柔軟に、そして長野県知事の言葉「しなやかに」活動していきたい。

《監事》

監事

茂幾俊武(もぎ としたけ)

太刀洗病院(院長/医師)

- 1 ゴルフ等スポーツ、スポーツを見ること。
- 2 勉強(何でも)、海外旅行、温泉行き
- 3 自分の時間、家族
- 4 お役に立てることがあれば協力し、これからの協議会の発展を期待したい。

監事

才田正晴(さいた まさはる)

甘木市役所 市民課(課長)

- 1 映画
- 2 キット(加工してある部材)を購入して丸太小屋を作ること。
- 3 ボランティア活動(住みよい町づくりをめざし、空き缶拾い活動等)
- 4 甘木・朝倉に住んでいて良かったと言われるような、質の高い利用者本位の介護サービスの提供を期待しています。

## ■会報の名称を募集しています

ようやく創刊号の発行にこぎつけましたが、このたび事務局としてこの会報の名称を募集することになりました。親しみがもてるステキな名称を思いつかれましたら、是非事務局まで下記要領にてご応募下さい。応募作品のなかから最優秀作を選考し、第2号(平成13年4月発行予定)からその名称を使用させていただきます。

### 【応募要領】

- ① 応募方法：会報の名称、その名称をつけた理由、氏名、所属先、電話番号をご記入の上、当協議会事務局宛ファックスもしくは郵送にてご応募下さい。(用紙、様式は問いません)
- ② 締め切り：平成13年2月15日(月)まで
- ③ その他：最優秀作品は次号にてご紹介するとともに、記念品として図書券を贈呈する予定です。

会員の皆様、是非奮ってご応募下さい!

## ■協議会の運営協力スタッフ募集中!(興味のある方は事務局までご連絡下さい) お酒の好きな方大歓迎?

事務局

甘木朝倉介護保険事業者協議会 運営部  
〒838-0227 福岡県朝倉郡夜須町大字朝日586番地  
介護老人福祉施設 朝老園内  
TEL (092)926-1171 FAX (092)926-3471

編集/発行所

甘木朝倉介護保険事業者協議会 広報部  
〒838-0823 福岡県朝倉郡三輪町大字山隈501番地  
介護老人保健施設 城山荘内  
TEL (0946)22-1051 FAX (0946)22-1318  
印刷/井上総合印刷株式会社